

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト
現地からのお便り（2022年7月～2023年6月）

2023年8月
コンサベーション・インターナショナル



カルダモン山地の風景© Conservation International/photo by David Emmett

パトロールと違法行為への対応

プロジェクトでは、中央カルダモン山地国立公園の森林保全活動（対象面積 401,313 ヘクタール）を継続して実施しています。主要パートナーは環境省および州の環境局ですが、現在は民間企業、Global Conservation, USAID Morodok Batiang など他ドナーとも連携し、保全に必要な技術的サポートや、中央カルダモン山地をカバーする 6 つのレンジャーステーションに所属するレンジャー42 名を対象に、森林パトロールに必要となる燃料や備品、各種手当の補填を行っています。

2022年7月から2023年6月にかけてパトロールは計1,212回実施され、延べ48,191kmをカバーしました。パトロールの結果、違法行為者5名の特定（状況に応じて法的対処の手続きが行われます）、チェーンソー163台と銃18丁の没収、1,649個の密猟用トラップの除去を行いました。また、違法行為の拠点となる野営地を発見した場合には破壊しています。



密猟用の罟を取り除くレンジャー（左）、押収したブッシュミート（右）

© Cambodian Ministry of Environment



押収した違法伐採による木材（左）、雨季で増水した川を渡るレンジャー達（右）

© Cambodian Ministry of Environment

REDD+プロジェクトの立ち上げ

中央カルダモン山地国立公園で REDD+プロジェクト形成に向けて、対象となる 23 のコミュニティそれぞれで事業説明を実施し、FPIC¹のプロセスを完了しました。現在は Project Document (REDD+プロジェクトに必要な書類) の最終化に向けて作業を進めています。また、二酸化炭素の貯蓄量を測るための森林インベントリ調査や、カメラトラップを用いた生物多様性も実施しました。後者のデータはプロジェクトのベースラインとなり、今後モニタリングの基盤としても活用される予定です。プロジェクトの validation (妥当性確認) と verification (検証) は 2024 年中旬頃を予定しています。



コミュニティの住民と森林資源利用をマッピング（左）、森林インベントリ調査の様子（右）

© Conservation International



FPIC のプロセスで、対象コミュニティへ説明を行う様子

© Conservation International

¹ FPIC (Free Prior Informed Consent)、 「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意」。 REDD+プロジェクトを形成するにあたり、必要なプロセスの1つ。

トラストファンド

昨年度はトラストファンドの資金は活用せず、利息分も運用に回すことで将来的な資金源の確保に努めています。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。